

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和5年度）

基本方針	2.未来を創る人づくり
基本施策	2-2.最適な教育環境の構築
関連するプロジェクト	2.学びの改革プロジェクト

安全で安心な質の高い教育環境を整備するとともに、社会に開かれた学校づくりを進め、地域全体で子どもたちの学びを支える環境を整えていくため、学校と地域の連携・協働体制を構築します。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

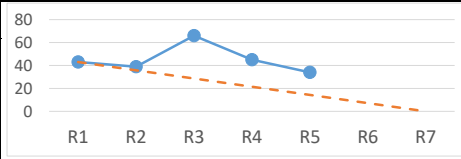
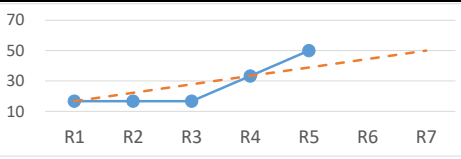
総合評価
A

R6事後
4

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針		成果指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
1	企画部		大学等高等教育機関の設置	市内で生まれ育った子どもたちが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、大学等高等教育機関の設置に向けた研究を進め、市内での進学の実現を支援するとともに、卒業後は地域産業の担い手として活躍できる環境整備を図る。	①	令和4年度までの調査・研究を踏まえ、理工系人材の確保・育成を目的とする新しい大学の設置に向けて必要な事項を調査し、北上市における大学設置可否を判断するための基礎資料を適切にとりまとめることができた。	A	県内の高校2年生10,000人・保護者・進路指導担当教員を対象にアンケート調査を実施し、ニーズを把握することができた。WEBアンケートを活用することで、高校生からは約4,000人の回答を得、統計的にも信頼のある分析に十分な回答数を得ることができた。		◇大学設置の意義や目指す大学の姿をより具体化するため、市立大学の設置に関する基本構想を策定する。 ◆基本構想策定の後、基本計画への着手を想定する。
						外部の有識者と大学設置に関する意見交換を行い、今年度の取り組みにつながる有意義な情報を集められた。	(A)	大学関係者のほか、企業関係や高校教員との意見交換により、様々な角度からの意見を集めることができた。		
2	教育部	●	地域とともにある学校づくり	学校と地域が、連携・協働し一体となって取り組み、持続可能な円滑で効果的な学校運営を推進するため、コミュニティ・スクールの充実を図る。	未設定		A (A)			◇年2回のコミュニティ・スクール等連絡協議会を開催し、先行事例等を共有することで、更なる推進を図る。
						各地区の特徴を生かした体験学習や地域学習など、それぞれの地域学校協働活動ができた。		コミュニティ・スクール等連絡協議会により、情報共有を行った。また、市の担当者で、推進検討委員会を持ち、今後の方向性を話し合った。		
3	教育部		これからの時代に 応じた指導体制や 教育環境の構築	さまざまな配慮を必要とする児童生徒に対して、多様な教育を受ける機会を保障しながら適切な指導体制を構築する。また、教職員の業務改善を図るため勤務内容を把握・分析し、教職員の負担軽減と健康確保に取り組む。	②	在校生等時間調査における6月の1か月在校等時間80時間以上職員数について、令和4年度は小中合わせて45人だったが、令和5年度は34人と減少している。ただ、未だに時間外勤務を行っている教員が多い。	B	・業務の軽減化を図るため、校務の電子化や部活動指導員の配置などを進めてきたが、教職員の業務はいまだに多い。 ・校長会議などで管理職に業務改善の必要性を周知しているが、その必要性の認識がすべての教職員にまで浸透していない。		◇勤務時間の実態調査を継続し、各学校、全教職員の教務改善に向けた情報提供や指導を進める。 ◇部活動指導員の任用を進め、中学校の時間外労働の軽減を図る。 ◇学校の運営上の課題を確認しながら、教職員の配置を検討していく。 ◇土日休日の部活動地域移行を試行し、教職員の時間外労働の軽減につながる仕組みを検討していく。 ◇導入した校務支援システムを活用し、教職員の業務改善を進める。
						各学校の工夫により、配慮を必要とする児童生徒に対しての支援体制を構築することができた。また、子どもの学びを保障し、工夫して教育活動を推進することができた。	(B)	児童生徒の状況や学校運営上の課題を把握し、教職員や市の個別指導支援員、学習支援員を配置できた。		
4	教育部	●	教育環境の整備	市の建築物最適化計画等に基づき、各学校の長寿命化や建替えを計画的に進める。また、将来のより良い教育環境や文部科学省が提唱する新しい時代の学びの実現に向け、これまでの協議経過や、少子化による様々な環境変化を踏まえた小中学校の教育環境の整備を進めるため、外部委員を含む検討委員会による「北上市における教育環境の在り方」をまとめ、この在り方を踏まえた教育環境の整備に関する計画を策定する。 また、生徒の多彩な教育機会を確保するため、市内高等学校の学習環境の充実や、市内高等学校等へ進学する生徒等の学習機会の確保に対し支援するとともに、高校や大学等に進学する際の奨学金制度を継続する。	③	当初指標に設定していた6校(令和2年度:江釣子中、令和3年度:飯豊中、令和4年度:二子小、令和8年度:黒北小・上野中、令和12年度:飯豊小)のうち、黒沢尻北小学校の長寿命化を優先し、実施設計を令和5年度に実施した。	A (B)	・施設老朽度合いを考慮し、実施年度が変更となっている。 ・二子小学校の長寿命化については、今後実施時期を検討する。		◇市の建築物最適化計画は、施設の耐用年数や老朽度により長寿命化時期を設定して計画されているが、計画時期よりも早く児童生徒数が国が示す指針における適正規模以下となる学校も出てきている。提言「きたかみの 未来を創る 教育のあり方」を踏まえ、学識経験者や学校関係者、地域教育関係者などによる新たな検討の場を設け、新しい時代の学びの実現に向けた小中学校の教育環境の整備に関する計画の策定を進める。 ◇統合北上中学校の新校舎供用開始に向け、引き続き、統合北上中学校建設推進委員会における意見交換等の内容を踏まえながら、建設工事を進める。 ◇奨学金制度利用希望者のニーズに応じた制度を検討するとともに、効果的な周知を図る。
						・「北上市立学校適正配置の在り方検討委員会」から、令和6年3月に、提言「きたかみの 未来を創る 教育のあり方」が提出された。 ・高校や大学等に進学する際の奨学金制度として、大学生等合計65人(うち新規貸与大学生は17人)に奨学金を貸与した。		より多くの対象者に奨学金を貸与できるよう、市奨学金貸与の対象となる進学先に、短期大学又は大学に相当する教育機関及び国外の大学を加えるとともに、選考基準のうち家計基準の所得要件を緩和した。	市内における少子化等を原因とする進学者数の減少や、日本学生支援機構奨学金への支援制度等により、コロナ禍であった令和2年度以降新規貸与者数が20名を下回る状況が続いている。	

凡例 ●-実績値 - - 期待値

指 標 ①		指標の説明		—							指 標 ②		指標の説明									指 標 ③		指標の説明								
大学等高等教育機関の設置に向けた活動の展開		※R7目標値:基本構想及び施設基本設計等設置に関する総合的な計画の完成(誘致の場合は必要に応じた事業者への支援の実施)									長時間時間外勤務教職員数		H31.3に策定した北上市教職員働き方改革プランにおいて定めた目標		学校施設の長寿命化実施率		北上市建築物最適化計画に基づく計画期間中の長寿命化実施率(長寿命化実施校の延べ数／実施予定校数)															
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
企画部		実績値			調査研究の実施	調査研究の実施	基本調査の実施			教育部	名	実績値	43	39	66	45	34			教育部	%	実績値	16.7	16.7	16.7	33.3	50					
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値	43	35.8	28.7	21.5	14.3	7.2	0			期待値 ※R7は目標値	16.7	22.3	27.8	33.4	38.9	44.5	50			
		備 考										※	備 考	月80時間以上勤務職員										備 考	月80時間以上勤務職員							
指 標 ④		指標の説明									指 標 ⑤		指標の説明									指 標 ⑥		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
教育部	%	実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			期待値 ※R7は目標値											期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考											備 考									
指 標 ⑦		指標の説明									指 標 ⑧		指標の説明									指 標 ⑨		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値											期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考											備 考									
指 標 ⑩		指標の説明									指 標 ⑪		指標の説明									指 標 ⑫		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値											期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考											備 考									
指 標 ⑬		指標の説明									指 標 ⑭		指標の説明									指 標 ⑮		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値											期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考											備 考									